

MINERAL RESOURCES GROUP

金属資源グループ

> OUR VISION

当グループは、これまでも事業環境の変化に応じ事業モデルの変革を重ねてきました。加速する脱炭素、電化、循環型社会への移行という社会環境の大きな変化を捉え、自分たちのビジネスをさらに変革させ、産業を原料供給の観点から支えていきます。

常務執行役員
金属資源グループCEO

田中 格知



金属資源グループの組織



外部環境変化を踏まえたリスクと機会

リスク	機会
● 温室効果ガス排出の少ない製鉄法による鉄鋼生産割合の増加に伴う原料炭の需要減	● EV化の進展や再生可能エネルギー発電設備の普及に伴う銅の需要増

金属資源グループの強み

- ・ 世界最高水準のコスト競争力と品質を兼ね備えた優良資産を保有
- ・ 長年構築してきた業界プレゼンスを生かした、大手資源会社をはじめとする主要プレーヤーとの強固なパートナーシップ
- ・ トレーディング事業で培ったグローバルな顧客基盤を通じて得られる業界インテリジェンス
- ・ 外部環境の変化に応じて事業モデルを変革し、成長につなげられる適応力

中期経営戦略2021における戦略

原料炭・銅を中核とし、世界最高水準のコスト競争力と品質を兼ね備えた優良資産をさらに磨き、環境・安定供給の両面において長期的に持続可能なビジネスを実現することをミッションとしています。これまで培ってきたノウハウを生かし、各事業で主体的に経営関与度を高め「経営の質」を上げることで競争力を強化していきます。

2021年3月期の進捗

- ・ 成長に向けた取り組みとしてケジャベコ銅鉱山開発を2022年の生産開始に向け推進中。また、アルミの原料となるボーキサイト鉱山(オールクン鉱山)事業へも参画し、競争力のある資産の確保と安定供給の実現に向けて着実に進捗
- ・ 金属資源投資ポートフォリオの強化を目的に、クレアモント一般炭炭鉱、西オーストラリア鉄鉱石開発事業、ハーニック社(フェロクロム事業)の撤退を完了

> 主要連結対象会社からの当社持分損益

	持分比率(%)	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
■原料炭事業						
1	MITSUBISHI DEVELOPMENT PTY LTD(オーストラリア)	100.00	1,271	1,980	2,469	1,187
■銅事業						
2	ジエコ株式会社*1	70.00	35	148	161	105
3	JECO 2 LTD(英国)*1	50.00	5	30	33	22
4	MC COPPER HOLDINGS B.V.(オランダ)*2	100.00	24	38	26	29
5	M.C. INVERSIONES LIMITADA(チリ)*3	100.00	▲84	35	14	▲13
■銅事業(単体配当収入)						
6	Antamina(ペルー)	10.00	92	128	86	50

(単位:億円)
*1 Escondida銅鉱山(チリ)への投資会社(ジエコ株式会社とJECO 2 LTDを通じた同鉱山への当社出資比率は8.25%)
*2 Los Pelambres銅鉱山(チリ)への投資会社(同鉱山への当社間接出資比率5%)
*3 2021年3月期第2四半期まではMC RESOURCE DEVELOPMENT LTD.で連結していたが、2020年8月にM.C. INVERSIONES LIMITADAへ株式移管完了。(2020年3月期以前はMC RESOURCE DEVELOPMENT LTD.の持分損益)

> 原料炭事業



BMA(オーストラリア)

世界最大規模の原料炭事業

金属資源の探査・開発・生産・販売を行うオーストラリア Mitsubishi Development Pty (MDP) 社は、パートナーと共に、年間生産量約65百万トン、海上貿易量の約3割のシェアを持つ世界最大規模のBMA原料炭事業に取り組んでいます。BMAでは、高品質な原料炭を産出する七つの操業炭鉱に加え、鉄道、港を一体運営しています。

低・脱炭素社会への移行により、電炉製鉄法の拡大や新技術の普及等により原料炭需要への影響が想定されますが、2°Cシナリオ*下から試算される事業環境では、特に高品位原料炭の優位性は高まり、BMAの競争力は高く維持される見込みです。事業環境の変化を見据え、BMAでの生産プロセスで排出される温室効果ガス削減に取り組むとともに、原料炭事業のパートナーであるBHP社と共同で、原料炭バリューチェーン全体での排出量削減に資する研究支援に取り組んでいます。

*IEA Sustainable Development Scenario。パリ協定にて合意された「産業革命以前からの世界の平均気温上昇を2°Cより十分に低く保つ」という目標の達成を前提として、各産業からのGHG排出量等を試算したものです。

> 銅事業



ケジャベコ銅鉱山(ペルー)

世界屈指の新規大型銅事業

ペルー共和国ケジャベコ銅鉱山は、約750万トンの埋蔵量と、30年の山命を見込む世界最大規模の新規銅鉱山であり、コスト競争力も高い最優良案件の一つです。パートナーのAnglo American社と共に2022年中の生産開始に向けて開発を行っており、生産開始後のわが社銅事業の持分生産量は約32~37万トンとなる見込みです。今後も電化が進む中で、世界経済の成長を支える銅の安定供給に貢献していきます。

当社持分生産量の推移と成長見通し(万トン)

